

JRA Advanced Training

Instructor : Ray McCall
Co-teacher: Hiroyoshi Tahata

Dr. Rolf said, **“It is easier to see the likenesses among people and to work on them in the same way than it is to see their radical individuality and to tailor our work to that distinctiveness.”**

The purpose of the Advanced Training is to explore how to develop a client centered series or session based on the principles of intervention and the client's needs and goals. We will review the internal logic of Dr. Rolf's ten series and how the goals of the 10 series evoke integration, which is one of the most important aspects of our work. We will review neck work, back work and tracking as ways to evoke integration. We will also explore positional strategies and movement interventions, including core connectivity, to bring about higher levels of change and integration. Along with specific manipulation skills, including increasing our range of contact, we will enhance our ability to be present with ourselves and with our client.

When we are truly present we can perceive what needs to be done. Developing perception is a life-long process that leads to the deliberate and appropriate use of self, precise interventions, and the ability to evaluate and track the effects of our work. The course material will be explored through lectures, practicums and instructor demonstrations.

Practitioners will exchange a supervised series with one another, and with an outside classroom client. Through these activities we will learn to strategize and perform a principle guided series which addresses the structural, functional and integration needs of each practitioner and each client. Also, a portion of the course will include the instructors' latest interests, innovations and discoveries.

ロルフ博士はこのように述べています。「**人々の共通点を見つけ、それに基づいて同じ方法で取り組むのは容易ですが、一人ひとりの独自性を見極め、その特異性に合わせてワークを組み立てるのは、簡単ではない。**」

アドバンスト・トレーニングの目的は、介入の原理 (principles of intervention) 、クライアントのニーズやゴールに基づいたクライアントを中心においたシリーズ、セッションを発展させる方法を探求することです。ロルフ博士の10シリーズの内在的な論理と、10シリーズのゴールがどのように統合を呼び起こすか、これが私たちのワークで最も重要な側面の一つですが、これらを復習します。統合を呼び起こすものである、ネックワーク、バックワーク、トラッキングについても復習します。また、より高いレベルの変化と統合をもたらすものとして、位置的戦略 (positional strategies) や、コアの連続性も含めたムーブメントの統合についても、探求します。特定のマ

ニュピレーションのスキルや、コンタクトの幅 (range) を増やすことに加え、プラクティショナー自身と、そしてクライアントと共に、今、ここに集中するため (be present)、の能力についても高めていきましょう。

私たちが本当にその場に集中できている時 (truly present) 何かなされるべきか知覚することができます。知覚を発達させることは生涯にわたる長いプロセスで、それにより、自分を自覚的に適切に活かせること、正確 (精密) な介入や、ワークの効果をたどったり評価する能力をもたらします。講義、実習や、インストラクターのデモを通してコースの題材を探求していきます。

プラクティショナー (参加者) は、スーパーバイズ (指導) のもとで、シリーズのセッションを行います。お互いに行うセッションと、外部クライアントとのセッションがあります。これらの活動を通して、原則 (principles) に則ったシリーズを戦略だて、実施することを学びます。これらのシリーズは個々のプラクティショナーと個々のクライアントにとって、構造的、機能的、統合的なニーズを扱うものです。また、コースには、インストラクターの最新の関心事、イノベーションや、発見が含まれるでしょう。

“We must learn how to feel our way into the person and wait for what the body wants to show us, not impose our will on the body.”

-Hokaku Jeffrey Maitland

「私たちは、そのクライアントへのアプローチの方法を感覚で学び、その身体が私たちに何かを示すまで待たなければなりません。そして、(施術側の) 自分たちの願望を受け手の身体に押し付けてはいけません。」

- 法覚

講師 : Ray McCall & 田畑浩良



Ray McCall 1975年に初めてロルフィングを経験。DIRIのアドバンストインストラクターとして、ベーシック、アドバンストクラス及びワークショップを米国内外にて教授。彼は、人々が自分らしくあり、その自分を世界で表現することに、そしてロルフィングがそのプロセスをどのように促しているかということに関心を持っている。ここ数年はenergetic taxonomyの分野を探求している。



田畑浩良

26年に渡りロルフィングセッションを提供。2009年より、ロルフ・ムーブメントインストラクターとしてロルフ・ムーブメント認定ワークショップを提供。Carol Agneessens先生と共に、the Art of Yieldを開発。間とyieldingのコンセプトを使って、energetic taxonomyを探求している。

通訳 : 古川智美

日程

- part 1 : 2025年4月8日(火)～25日(金)の計12日間(火～金のみ)
 - part 2 : 2025年6月24日(火)～7月11日(金)の計12日間(火～金のみ)
- 全日ともに10:00～18:00を予定。(4月18日は開始・終了が若干早まる見込み。)

会場

- part 1 : ルーテル市ヶ谷
 - : 東京都新宿区市谷砂土原町一丁目一番地(最寄り駅「JR市ヶ谷駅」)
 - : <https://www.l-i-c.com/community/access/>
- part 2 : ルーテル市ヶ谷

募集人数 : 18名(最低催行人数10名; 受講料全額を納める参加者が10名に達する、または再参加者含めて10名分以上の参加費が集まる場合)
: 2024年12月20日(金)18時までに最低催行人数に達しなかった場合は中止
: 申し込み締め切りは2025年1月31日(金)12時

- 受講料** : 人数変動制 1,284,000円～904,000円（詳細は表の通り：単位は円）
- : 12月20日(金)までのお申し込みは、2万円割引。
 - : 受講者数により受講料が変動します。2025年1月31日時点での申込人数により決定します。（以下の表を参照。実人数ではなく参加費ベースの人数により決定。通常の受講者を1、再受講者を0.5とカウント。）
 - : アドバンストロールファーによる再受講は半額
（※席が空いている場合に半額で参加可能。申し込みが定員(18名)を超える場合は、受講料全額を支払うことで参加可能。）
 - : 聴講 12,000円/日を予定（アドバンストロールファー限定）インストラクターによる許可が必要。講義の日程は今後決定。→受講者数と会場の空きを踏まえ、25年1月以降に告知予定

受講者数	参加費(円)
10	1,284,000円
10.5	1,223,000円
11	1,205,000円
11.5	1,162,000円
12*	1,176,000円
12.5*	1,142,000円
13*	1,131,000円
13.5*	1,098,000円

受講者数	参加費(円)
14*	1,078,000円
14.5	1,052,000円
15	1,038,000円
15.5	1,012,000円
16	988,000円
16.5	965,000円
17	943,000円
17.5	920,000円
18	904,000円

*12～14人においては、実人数により部屋が変わるため三万円ずつ安くなる可能性あり

受講に必要な要件

- : 認定後、3～7年(以上)の経験を重ねている事
- : 18の継続教育のクレジットの取得
 - 10 中間 (intermediate credits)
 - 5 ムーブメント (movement credits)
 - 3 選択 (elective credits)
- : 詳細はアドバンスト・トレーニング・ポリシーを参照



受講申込

：以下の申し込みフォームに必要な項目（受講者情報、取得クレジット情報）を記入してください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd6saWJ4yHFfh2Q-WkSCD0pugxl4D3aeP4uBK9NGDMO3hiRSQ/viewform?usp=sf_link

：クレジット情報などを確認し、教育担当から申込者にご連絡します。その後、本書類下部の受講申請書にご署名の上、教育担当 大友(education@rolfing.or.jp)に送付

：デポジットとして50,000円の振込

※受講要件に満たないが受講を希望する場合

：特例での参加 (Waiver)を申請することが可能です。上記申し込みフォームの情報をもとにインストラクターと相談の上、参加可否を連絡します。

：参加が認められた後にデポジット50,000円の振込と受講申請書の提出

：アドバンストレーニング後、単位など必要な要件を満たせば認定が受けられます。（要件を満たすまではアドバンストロールファーの正式な認定にはなりません。）

*参加したワークショップのクレジットの有無、種類が不明の場合、お問い合わせください。ただし、JRAの発行でない場合は、該当するRIOにおいてクレジットの有無をご確認ください。

*アドバンストロールファーの認定後、登録いただいた単位数の申告間違い等により単位要件の不足が判明した場合には、認定を一旦保留にさせていただきます。再度単位が揃った段階で再度申請していただきます。（手数料15,000円）

【支払い・キャンセルポリシー】

<申込・支払いについて>

・上記申し込みフォームでの必要事項の記入後、クレジット情報などを確認したのち、教育担当よりご連絡。

・教育担当からの連絡の後、下記の申請書の提出、デポジットの振込確認をもって受付完了とする。

※受講要件を満たしていない方は、講師による受け入れ承認後に、申請書の提出、デポジットの振込を行う。

・デポジットは、教育担当からの連絡後2週間以内に、下記の口座へ5万円を振り込む。

三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店

普通 5938168

トクヒ)ニホンロルフィングキョウカイ

・デポジットの振込が期限内に確認できない場合は、仮確保されていた席の権利は次の方に移される。

・デポジットをのぞく受講料残金の支払いは、受講料の確定後、指示された期間内に、JRAの口座に指定された金額を基本的に一括で振り込む。

<キャンセルに関して>

= JRA、インストラクターの都合でキャンセルとなる場合 =

1) 12月20日の時点で、最低遂行人数に達しなかった場合 -> トレーニング自体がキャンセル -> デポジットは返金（振込手数料は協会持ち）

2) 12月20日の時点で最低催行人数以上最大以下の場合 -> 開催決定 -> その後キャンセルとなってしまうたら、すべて返金（手数料は協会持ち）

（この場合、キャンセルとなる要因としては、自然災害、インストラクターの入国に関するもの、などが考えられる。）

= 受講者都合でキャンセルする場合 =

1) デポジットの振込後、トレーニングの開催決定より前 -> デポジットは返金されない。

2) トレーニングの開催決定後～開催6週間前(2月24日)の場合 -> 受講料の50%がキャンセル料として発生する。（返金の際の振込手数料は本人持ち）

3) トレーニング開始6週間前（2025年2月25日）以降の場合 -> 受講料の100%がキャンセル量として発生する。

いずれの場合も、旅費等の受講料以外の経費に関しては協会は免責とする。

作成：2013.4.25<教育>, 2014.4.23改訂, 2024.10（アドバンスト・トレーニング2025用に改訂）

受講申請書：

私は、2025年のアドバンスト・トレーニングの上記条件を理解し、受講を申請します。

氏名：

住所：

署名：

日付：

ご不明な点、本書類などの送付先の問い合わせは、教育担当の大友まで。

： education@rolfing.or.jp

—アップデート—
